

# アメリカにおける文学模擬裁判事情について

ーRendell Center による Literature-Based Mock Trialsー

札 埜 和 男

キーワード 文学(的)模擬裁判 Rendell Center literature-based mock trials

## 1 研究の目的

筆者は 2002 年より文学模擬裁判の実践的研究を手掛けている。「模擬裁判を通じて、法の知識や法的思考力に留まらず、人間や社会という不条理な存在を深く考える姿勢を養う模擬裁判」を「国語的模擬裁判」と定義し、その中でも文学作品を題材とした模擬裁判を「文学模擬裁判」と定義している。ここでいう「文学作品」とは具体的には小説だけでなく、古典（古文・漢文）、随筆、詩、口承文芸、落語、演劇等のジャンルを含む（札埜 2022 p. 39）。

アメリカにも Rendell Center という組織が文学作品に基づく模擬裁判の取組を行っている。この組織は Philadelphia 州判事の Rendell<sup>1)</sup>を代表として 2014 年に設立され、literature-based mock trial を実践し展開する組織である。

本論文では、2022 年 8 月 20 日に閲覧した Rendell Center の HP<sup>2)</sup>、YOUTUBE “Rendell Center Literature Based Mock Trials”（9 分 35 秒）、“Literature-Based Mock Trials with The Rendell Center”（19 分 24 秒）の内容を中心に、Rendell Center による模擬裁判の概要を紹介する。そして日本で筆者が行う文学模擬裁判との共通点や相違点について述べ、今後の研究の方向性を示す。なお本論ではアメリカにおける文学模擬裁判（literature-based mock trials）を文学「的」模擬裁判と称す。2（1）以外、英語の固有名詞はそのまま記している。

## 2 レンデルセンター（Rendell Center）の概要

### （1）レンデルセンターの HP の内容

レンデルセンターの HP の内容について、翻訳変換機能を使った表示を順に記していく。まず最上部には次の記述がある。【 】内は何かがあるかを示す（訳ではない。下線および枠は筆者による）。

レンデル・センターは、文学や歴史に基づいた模擬裁判を教室で実現することを簡単で楽しいものにします。レンデル・センターでは、模擬裁判を始めるために必要なツールやガイダンスが用意されています（成功の秘訣はこちら）。

#### レンデルセンター模擬裁判フレームワーク

生徒が教室で読んでいる文学や歴史に焦点を当て、分かりやすくデザインされています。その目的は、アメリカ政府とその司法制度について教えながら、生徒の学習経験を豊かにすることです。

この枠組みは、文学、歴史、市民リテラシーを融合させたもので、生徒たちに熱心な市民としての知識と気質を身につけさせるための継続的な取り組みです。これは、生徒が生涯にわたって身につけることができるスキルです。

### 【レンデルが画面に現れる YOUTUBE 動画】

#### ペンシルベニア弁護士会 もうひとりのパートナー

レンデル公民権センターは、このプロジェクトでペンシルベニア弁護士会と提携することを誇りに思っています。ペンシルベニア弁護士会には弁護士や裁判官がおり、教室に出向いて文学や歴史に基づく模擬裁判をサポートしてくれます。弁護人から反対尋問について学んだり、経験豊富な裁判官の前で生徒が自分の意見を主張するのを見たりしてください。

#### 文学や歴史を題材にした模擬裁判を教室に導入してみよう

ビデオと模擬裁判ハンドブックは、プログラムを理解し、このエキサイティングで魅力的な学習体験を生徒たちに紹介するためのステップバイステップのガイドとしてご利用いただけます。ハンドブックをダウンロードし、下のビデオを見るだけで、簡単に始めることができます。

また、ここでは、教師のための模擬裁判に関する一般的な注意事項をご紹介します。模擬裁判導入のための必読書ではありませんが、最初の模擬裁判の前に必ず目を通しておいってください。

【MOCK TRIALS と称された YOUTUBE 動画。模擬裁判ハンドブックと模擬裁判に関する一般的な注意事項がダウンロードできるようになっている】

#### マージョリー・レンデル裁判官の視点

共同設立者であるマージョリー・レンデル判事が、裁判所の重要な働きについて専門知識を提供するビデオシリーズで、あなたとあなたのクラスがよりよく理解して模擬裁判を行うのに役立ちます。

以下の3つのビデオモジュールでは、裁判官、陪審員、上訴裁判所の機能について、教室で共有できるリアルな洞察を提供しています。

### 【裁判官の仕事、陪審員の仕事、控訴審の内容を説明する YOUTUBE 動画】

#### 弁護士の視点

弁護士のジェニマエ・アルムクイストが、裁判の要素とレンデルセンターの文学・歴史的模擬裁判を改善する方法についてビデオで解説しています。

以下の4つのビデオモジュールは、生徒に裁判の重要な部分を説明し、教室でこれらを実践する方法を説明するための優れたリソースです。

【ストーリーテリング、直接尋問と反対尋問、オープニングステートメント、クロージングステートメントを説明する YOUTUBE 動画】

#### ハンドブックと配布資料

以下のマスタープリントのいずれかをダウンロードして、コピーしてクラスで共有することができます。ボタンをクリックすると、個々のセクションまたはハンドブック全体をダウンロードすることができます。

## 【ダウンロードできる模擬裁判フルハンドブック】

### 個人配布資料

#### 【ダウンロードできる資料】

共通言語アクティビティーの作成/裁判について知っていること

直接尋問の質問アクティビティシート/証人喚問アクティビティシート

リーディングクエスチョンアクティビティシート/オープニング・ステートメントを書くアクティビティ

質問技法の練習 アクティビティシート/クロージング・ステートメントを書くアクティビティ

ルールや法律について考える 情報シート/ルールの作成アクティビティー図書館に動物を持ち込まない

評価シート/ルールの作成アクティビティー教室に食べ物を持ち込まない

### 文学的な脚本

以下の文献に基づいたスクリプトをダウンロードして、模擬裁判を通して生徒をエキサイティングな学びの世界に引き込んでください。

【“The Outsider” を除くダウンロード可能な 13 作品。表 2 参照】

### ヒストリーベース・スクリプト

歴史に基づいた以下のスクリプトをダウンロードして、模擬裁判を通して生徒たちをエキサイティングな学びの世界に引き込んでください。

【ダウンロード可能な 2 作品。表 2 参照】

### 学生の声

本を読むと、想像力を働かせることができる。(裁判の) 役を演じることで、自分だけのものになるんです。テイジョナ

裁判は、まるで法廷での出来事であり、これが本当のことであるかのように生き生きと感じられました。模擬裁判のどの部分も、私に新しいことを教えてくれました。アンナマリア

模擬裁判は本当に頭を働かせることができ、全員が楽しめたからです。また、模擬裁判を楽しんだのは、私のクラスにとって、既成概念にとらわれない考え方をする経験になったからです。ムスタファ

私たちは考えることを学びます... 弁護士として絶対に気を抜けないからです。すべての事件が単純なわけではありませんし、(批判的に) 考える能力がなければ、多くの犯罪者を野放しにしてしまうことになりかねません。イテツ

[先生から) もっと法律や裁判、それに関連するすべてのことを学びたいと思うようになりました。

私は弁護士か裁判官になりたいと思っていますし、その目標に向かってこれからも努力し続けます。  
テア

#### 先生方の声

生徒たちは、裁判の台詞を書くことができ、また、登場人物の行動や動機についてより深く知るために、テキストを非常に精読することができました。ジュディ・ベンダー（ペレルマン・ジュイッシュ・デイ・スクール）

模擬裁判を行うということで、生徒たちは小説を本当に読んで理解しようという意欲が湧いてきました。ジョディ・フライシュマン（オルニー小学校）

この模擬裁判は、5年生の社会科と文学のプログラムに完璧に適合していました。私たちは、公民や政府、そして善良な市民としての私たちが国の全体像の中でどのように位置づけられるかを学んでいます。スティーブン・ポートマン博士（カッパービーチエレメンタリースクール）

このプログラムでは、学生は批判的に読み、自分のケースを構築するための根拠を見つける必要があります。これは、文章から抜粋して論文を支持するという、文学に必要なスキルです。また、簡潔で直接的な主張をするよう促すことで、文章力を高めることもできました。メアリー・フィネガン（聖・イサドレス）

文学を題材にした模擬裁判に参加することで、生徒は以下のことを学びます。

- ・法廷での手続きや法制度（裁判官、弁護士、陪審員の役割）を理解し、法律に関連するさまざまな職業に触れることができるようにする。
- ・法の支配、無罪の推定、立証責任、適正手続き、権利と責任、正義と権威の概念など、憲法の原則を理解できるようになる。
- ・より高度な思考力を身につける（問題の批判的分析、戦略的思考、質問力など）。
- ・自信、チームワーク、コミュニケーション能力を身につける。
- ・読む、書く、話す、分析する、聞く、推論するといった基本的なスキルの習熟度を高める—すべて対話的で魅力的な環境の中で
- ・資料を準備し、整理し、発表するスキルを身につける。

#### （２）“Rendell Center Literature Based Mock Trials” の内容

上記の内容を時系列的に紹介していく。翻訳についてはヒューレット・柳澤えり子氏<sup>3)</sup>の協力を得た。文責は筆者にある。

Rendell は文学的模擬裁判は高度な思考能力を養い、読み、書き、話し、聞くという技能を発達させると共に、この国の法の組織を教育するための手段であるという。文学的模擬裁判を学校挙げて採用している小学校では、英語（つまりアメリカでいう国語）の学力テストスコアが高くなったとし、模擬裁判の裁判官として参加し、実際に生徒たちの理解力が成長していることを目の当たりにしたと述べる。

文学的模擬裁判は法の組織を学びながら、文学作品をより深く理解する機会を生徒に提供し、生徒の自信、批判的思考力、チームワーク、コミュニケーション技能だけでなく、基本的な学習技能、すなわち読む、

話す、書く、聞く、分析する、理論を立てる技能を磨く効果があるという。また法律の組織の理解を深め、裁判官、検察官、弁護人など裁判に参加する人々の役割や裁判所での礼儀を知り、推定無罪、立証責任、適法手続、権利と責任などについて学び、また正義と権利という概念も学ぶということである。

文学的模擬裁判は普通の裁判がなぜ行われるのかと同じ理由で行われる、即ち文学作品には当事者が解決できない紛争、対立が存在するからだという理由である。また模擬裁判は、歴史的な出来事、時事問題、学校やクラスの問題、仮説に基づいて行うことができ、通常の裁判の手順に従って行われるが、文学的模擬裁判は文学作品に基づいて行なっているという。そこにはほとんどの文学作品には何らかの紛争、対立が描かれているからである。そして文学作品を例に挙げて、3匹の熊のお家に入った金髪のゴールドロックちゃん<sup>4)</sup>は、不法侵入をしたのか、有罪の可能性はあるのかと問い掛ける。

文学的模擬裁判を作るためのステップは次の通りである。

①紛争・対立が何なのかを明確にする。

②双方の当事者の事実をはっきりさせる。

③物語に出てきている誰が証人なのか考える。もし他に証人がいるとしたら誰か、物語には出てこない証人を作り上げる。

④裁判に参加するすべての人の役割(裁判官、代理人、証人、廷吏、陪審員)をよく把握する。

そして、Rendell Center ではハンドブックを用意しており、それをクラスで使うことによって文学的模擬裁判に向けての準備がスムーズに行われると述べている。

そして実際に Rendell Center のプログラムを利用した2名の教員が交互に短時間ずつその効果について語っている。Joan Carter Willians (Philadelphia 学区、小学4年担任)と Anne Olvera (Philadelphia 学区、小学6年担任)である。Joan Carter Willians は次のように語る。

文学的模擬裁判をクラスで行うことをお勧めします。子どもたちが理論的に討論することを学びます。公の場で話をすることを学びます。学習を高め、強めます。文学的模擬裁判を取り入れる前、模擬裁判に慣れるために、台本に沿った模擬裁判をしました。何度も台本通りの文学的模擬裁判をやってから、実際にクラスで読んでいる文学作品をどの様にして文学的模擬裁判に仕立て上げるか話し、やってみます。私のクラスで文学的模擬裁判を行った結果、子どもたちは文学作品の登場人物の性格(キャラクター)を深く理解することができました。よく教員は、児童生徒に推論をすることを教えるのは容易ではない、と言います。ですが、キャラクターに近づき、彼・彼女が何をするか、何をいうか、なぜそうするか、なぜそう言うか子どもたちが話し合う時に、キャラクターについて推論し、より深く理解することができるのです。自分が大好きな「Mr.Fox」のお話の狐が文学的模擬裁判にかけられるとしたら真剣に考えるでしょう。また文学的模擬裁判のもう一つの良いところは、子どもたち全員が何らかの役割を持って参加することができる、ということです。上手に演技ができる子どもも、内容理解に難しさを感じている子どもも、全員が一緒に参加することができます。

Anne Olvera は次のように述べている。

文学的模擬裁判を取り入れることは、教師にとってとても良いことです。正直なところ、初めは「これは一体何、こんなことをしている時間はないわ」と思いました。でも本当にやってよかったです。子供が文学作品の理解を、そして文学的模擬裁判をどこまで発展させることができるか見ることができました。Rendell Center は、模擬裁判の台本を持っていて、それを使ってすぐ始められます。文学的模擬裁判をするためにはそれほど多くの余分な時間はかかりません。文学的模擬裁判をすることによって、すでに教師が行なっていることを強

化し高めることができるのです。文学的模擬裁判は教師にとっての余計な仕事、ではなく教師自身が興味を持って、楽しむことができ、生徒の学習に役立つものです。また公民という科目に触れることになります。裁判の流れや、裁判に参加する人々のそれぞれの役割を明確に理解するようになります。もし生徒が裁判を受ける立場に立ったらその人は、自分の持つ権利を使います。弁護人がつきます。陪審員についても知ることができます。検察官や、廷吏は誰でもなれるわけではありませんが、陪審員は誰でもなることができますし、一生のうちに陪審員に多くの人がなります。ですからアメリカで陪審員について早い時期から知っている必要があります。文学を学ぶクラスで公民の学びや文学的模擬裁判をすることは有利で好都合です。生徒は深く集中して学びます。必修科目についてよくいわれることですか、大切なのは、より広くではなくより、深くなのです。深く学ぶからその登場人物と、彼らの抱える対立について理解し、起訴したり、弁護したりすることができるようになるのです。

### **（３）“Literature-Based Mock Trials with The Rendell Center” の内容**

上記の内容については、2022年9月7日にオンライン（Zoom）でヒューレット・柳澤えり子氏の協力とサポートを得ながら、画面共有して内容を確認していった。ここに掲載するのは逐語訳ではなく概要の訳である（文責は筆者にある。途中教材となるシートの画面が出てきたが、それらの説明はここでは省く）。順次発言順に記す。

#### **The Honorable Marjorie O. Rendell**

司法制度を理解しながら文学作品を深く学ぶ機会を与える、有効な学びの手段であることを述べている。内容としては前掲の（２）とほぼ同じである。

#### **Joan Carter Williams**

児童たちは弁護士が小学校に来てくれただけでテンションが上がり喜ぶ。法律家ってどんな人なのか、児童が訊いてくる。この文学的模擬裁判のためだけに来てくれたことに対して、月にも上るように張り切ってとても喜ぶ。

#### **Philip Yoon (Pennsylvania 州高等裁判所のスタッフ弁護士)**

文学的模擬裁判は弁護士がクラスに入って子供たちと創り上げる機会を提供している。既に英語のカリキュラムで文学作品を読んでいるから取り入れやすい。模擬裁判をやることによりもっと深く司法制度に興味を持つ。シチズンシップに広く興味を持ってくれることを願っている。

#### **Anne Olvera**

文学的模擬裁判は公民教育のきっかけになる。公民教育の別の違う方法を模索していてやり始めた。子供の時に模擬裁判を経験することにより、大人になった時に市民としての責任を果たし、成長してもらいたい。遠い大きな目標を期待しながらやっている。

#### **Anne Spector Curriculum Director (カリキュラム統括ディレクター)**

文学的模擬裁判は一般的なことだが、文学作品を選ぶことから始まる。特にこういった作品を選ぶべきであるといったルールはない。長編かもしれないし、短編からかもしれない。クラスの皆が気に入っている作品でもよい。生徒にとって難解な作品であってもさらに理解しやすくなるかもしれない。ただどんな作品を選ぶにしても大切なことは1つだけその作品に明確な争点があることだ。これは外せない条件である。なぜなら争点は法律と関係しているからだ。金髪の女の子が三匹の熊の家に入って大きな椅子、中くらいの椅子、小さな椅子のうち、赤ちゃん用の小さな椅子を壊して、金髪の女の子は逃げていく。“Goldie Locks”の話で女の子は不法侵入の罪が考えられるのではないか<sup>5)</sup>。次にFact Packetを使って事実を集める。実際に女の子が何をしたのか書き出すのである。女の子が裁判

にかけられることを想定して成り立たせる事実を挙げる。追加するところもある。

物語に現れていない隣に住む熊さんを証人に呼んで作り上げることもある。証人を作り上げることで争点がさらにはっきりさせるのである。金髪の女の子の証人として、森の中を歩いている「赤ずきんちゃん」をたまたま登場させるかもしれない。できたら3人くらいの証人を使う。どうやって Fact Packet をつくるかだが、生徒たちだけかもしれないし、教師と一緒にかもしれない。e-mail で Rendell Center とやりとりしながら作ることもあるだろう。もし Fact Packet を作り上げたものがあれば、事実の確認から始めよう。

#### The Honorable Marjorie O. Rendell

私は Philadelphia 州の裁判官で孫もいる。5年生の子が証言台に出て証言する、自信を持って目を輝かせながら証言する姿は私にとってワクワクする。どんな役であっても台本を考えたり人に話す姿は誇りに思う。もし（これを）見ている人が教師や弁護士であればぜひ文学的模擬裁判をやってみてほしい。文学作品を読むことにより違う世界に目が開かれる。文学的模擬裁判をすることによりさらにもう一つに世界が開かれて、文学作品の内容、人間としての経験について新しい知見が得られるだろう。

#### Anne Olvera

文学的模擬裁判は司法制度を詳しく体験しながら理解できるようになる。もしかしたら将来司法で仕事をしたい生徒が出てくるかもしれない。何をするのか理解することで、やってみたいと思うかもしれない。

#### Joan Carter Willians

5年生は一般論として協力してやるのが得意でない。文学的模擬裁判は協力するスキルを身につける。必ずしも弁護士や検察官などやりたい役につけないかもしれない。しかし希望通りいなくても弁護士、検察官などさまざまな視点を持って批判的に考えていかねばならないので、批判的思考力が身につけられる。また実際の裁判がどう進められるのか知ることができる。スキルとしては聞くスキルが身につく。相手が何を言っているのかよく聞かないと考えられないからだ。コミュニケーションスキルの中でまず聞くことである。はっきり相手が理解できるように話すことができるようになる。

#### The Honorable Marjorie O. Rendell

子供であっても彼らはより物事を理解できるようになる。文学的模擬裁判は司法制度を理解するための完璧でユニークな機会を提供する。

### 3 日本の文学的模擬裁判との比較

#### （1）共通点

HP や 2 本の動画の内容からは、日本で筆者が実践する文学的模擬裁判との共通点が多く見られる。新学習指導要領にある「知識および技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」の3つの観点から見ても、いずれかに該当する点が見られる。ここでは教科の視点から養える知識・技能や能力、学びに向かう力・人間性等の視点、教科横断的な視点、方法やプロセスの視点などから共通点を見だし、表にまとめる。

表1 日本の文学的模擬裁判との共通点

各視点の項目	共通点
国語（教科）的な視点から養えるスキ	・読み、書き、話し、聞く力、訊く力（質問力）を養うことができる。とりわけ聞く力を大事にしている。

ルや能力 <sup>6)</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション技能を養うことができる。</li> <li>・推論する力を養うことができる。</li> <li>・論理的思考力を養うことができる。</li> <li>・批判的思考（分析）力を養うことができる。</li> <li>・戦略的思考を学ぶことができる。</li> <li>・登場人物への理解が深まる。</li> <li>・文学作品をより深く理解することができる。</li> <li>・資料の準備や整理、発表（プレゼンテーション）のスキルを向上させることができる。</li> </ul>
社会（教科）的な視点から養えるスキルや能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法の組織や司法制度を理解することができる。</li> <li>・裁判に登場する役割を理解することができる。</li> <li>・法廷のマナーを理解することができる。</li> <li>・法の支配、推定無罪、立証責任、適法手続、権利と責任、正義と権利といった概念を理解することができる。</li> <li>・シティズンシップを学ぶことができる。</li> </ul>
学びに向かう力・人間性等の視点から養える力など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームワークや協力するスキルを学ぶことができる。</li> <li>・自信が身につく。</li> <li>・堂々とした態度が身につけられる。</li> </ul>
教科横断的な視点からの特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育、生涯教育になる。</li> <li>・公民教育になる。</li> <li>・陪審員（裁判員）教育になる。</li> </ul>
方法やプロセスの視点からの特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文学作品を選ぶ際に必ず明確な対立や紛争が存在する。</li> <li>・選ぶ文学作品の中には既習の作品がある。</li> <li>・争点を明確にし、事実を挙げて、証人を設定し、役割を学んでいく（順番については違いがあるが、学ぶ要素は同じである）。</li> <li>・全員が参加する。</li> <li>・台本が存在する。</li> <li>・法律専門家が関わる。</li> <li>・文学（的）模擬裁判を実施する前に台本に沿った一般的な模擬裁判を行うことで慣れる（ことができる）。</li> </ul>

## （２）相違点

相違点としては大きく３点挙げられる。第一は文学の理解に止まり、その先の「人間」について考えることを目的としていない点である。文学模擬裁判は「人間や社会という不条理な存在を深く考える姿勢を養う」ことを目的とする以上、人間存在について考えることを重要視しており、法哲学な要素を持つ。Rendell は「文学的模擬裁判をすることによりさらにもう一つに世界が開かれて、文学作品の内容、人間としての経験について新しい知見が得られるだろう」とは述べるが、人間について考えるところまでは要求していない。第二は文学だけでなく歴史的事件も教材に扱っている点である。教材として２点備えている（表２参照。“The Boston Massacre”、“The Trial Aaron Burr”）。第三は最終的な着地点は文学を使って司法を学ぶところにあるように思われる点である。確かに実践する



教員側からも Rendell 自身からも文学作品への理解が生まれることについて言及しているが、Rendell 自身が州判事であったキャリアから、司法の理解に重点を置いているのではなかろうか。

#### 4 今後の展望

Rendell Center は台本やハンドブックを備えている。台本として、筆者の文学模擬裁判と合わせて表示すると表 2 のようになる。

表 2 台本一覧

Rendell Center 16 本	筆者の文学模擬裁判 <sup>7)</sup> 10 本
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Goldie Locks</li> <li>• Lamb to Slaughter</li> <li>• The Lorax</li> <li>• Monster</li> <li>• When You Reach Me</li> <li>• The Outsiders</li> <li>• The Gold Cadillac</li> <li>• Because of Winn Dixie</li> <li>• Pine Wood Forest v. Fantastic Mr. Fox</li> <li>• Hoot</li> <li>• Shiloh</li> <li>• Tuck Everlasting</li> <li>• To Kill A Mockingbird</li> <li>• All In a Summer Day</li> <li>• The Boston Massacre (歴史分野)</li> <li>• The Trial Aaron Burr (歴史分野)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 高瀬舟 (小説)</li> <li>• 羅生門 (小説)</li> <li>• こころ (小説)</li> <li>• 猿の嫁 (昔話)</li> <li>• 浦島太郎 (昔話)</li> <li>• 安楽死事件<sup>8)</sup></li> <li>• 藪の中 (小説)</li> <li>• ごんぎつね (小説)</li> <li>• 河豚鍋 (落語)</li> <li>• 蜻蛉日記 (古文)</li> </ul>

Rendell Center にはハンドブックもある。今回は Rendell Center の取組の概要に留まったが、今後はハンドブックの内容、台本の中身の紹介や分析など Rendell Center の実践をより詳細に調査研究し、筆者の文学模擬裁判との比較をさらに進めていく方向が考えられる<sup>9)</sup>。文学模擬裁判の実践に参考となる点を探り入れながら、より普遍的で精度の高いメソッドにしていくことが次の段階である。

#### 注

- 1 Philadelphia 州知事の first lady であったらしい。
- 2 <https://rendellcenter.org/programs/literature-and-history-based-mock-trials/>
- 3 東北インターナショナルスクール日本語教師。
- 4 表 2 では“Goldie Locks”になる。アメリカで人口に膾炙した子供向けの作品である。
- 5 次の法律の条文が示される。 A person commits an offence of criminal trespass if he/she knowingly enters a property without permission.
- 6 社会科と被る能力やスキルもあるが、ここではとりあえず国語科のほうにまとめる。

- 7 全て台本があるわけではない。『藪の中』を含めた下4作品は供述調書などの教材だけである。
- 8 これは奥野善彦編（1994）『安楽死事件—模擬裁判を通してターミナルケアのあり方を問う』医学書院をもとに作成した国語的な模擬裁判になる。
- 9 “Literature-Based Mock Trials with The Rendell Center”にはNelson Mandelaによる“Education is the most powerful weapon which you can use to change the world.”の言葉、“Education breeds confidence. Confidence breeds hope. Hope breeds peace.”の言葉が映し出される。理念や方向性として同じところが感じられる。

## 参考文献

札埜和男（2022）「回顧と展望—文学模擬裁判の実践的研究」『龍谷大学人間・科学・宗教総合研究センター研究紀要』第2巻 pp.38-48

## 参考 URL 等

<https://rendellcenter.org/programs/literature-and-history-based-mock-trials/>

YOUTUBE “Literature-Based Mock Trials with The Rendell Center”

YOUTUBE “Rendell Center Literature Based Mock Trials”（いずれも2022年8月20日閲覧）

## 謝辞

ヒューレット・柳澤えり子氏には多大なご協力を頂きました。

本稿は、JSPS 科研費 JP20K02809 の助成を受けた研究成果の一部です。

（ふだのかずお／龍谷大学文学部）